

広島県  
商工会地域

# 中小企業景況調査報告書

第171回

令和5年1～3月期 実績

令和5年4～6月期 予測

令和5年4月

広島県商工会連合会

## 中小企業景況調査の概要

1. 調査趣旨 この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体の管内の企業約18,840企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。
- 広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。
2. 調査対象 (対象地区) 県内14商工会  
祇園町、江田島市、呉広域、佐伯、安芸津町、広島県央、  
三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、神石高原、  
三次広域、備北  
(対象企業) 231社  
製造業46 建設業48 小売業71 サービス業66
3. 調査方法 経営指導員による訪問面接調査
4. 調査期間 令和5年1月～3月期実績、及び令和5年4月～6月期見通し
5. 調査時点 令和5年3月1日

6. DIとは Diffusion Index (景気動向指数)の略。
- 各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。
- DIがプラス(+)なら……………強気(楽観)、上昇機運  
DIがマイナス(-)なら……………弱気(悲観)、低下機運
- 例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、  
 $DI = 50 - 20 = 30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。

7. 表記基準 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。
- 「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満  
「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満  
「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上

8. 表記基準 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。

(参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料

- (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)

[https://www.smrj.go.jp/research\\_case/research/survey/index.html](https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html)

- 中国財務局 (中国地方の経済動向)

<https://www.chugoku.meti.go.jp/stat/keiki/index.html>

- 広島県 (広島県経済の動向)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/273/1244079054510.html>

1.ポイント ※(独)中小企業基盤整備機構「第171回中小企業景況調査(2023年1-3月期)のポイント」より

・中小企業の業況判断DIは、3期ぶりに上昇

全産業の「業況判断DI(前期比季節調整値)」は▲13.7で3期ぶりに上昇し、前期(2022年10-12月期)の9.2ポイント増、2023年4-6月期の見通しは0.2ポイント増。

産業別では、サービス業は前期比14.3ポイント増、卸売業は11.5ポイント増、小売業は8.1ポイント増、製造業は5.6ポイント増、建設業は1.9ポイント増とすべての産業で上昇した。

・小規模企業の売上単価・客単価は横ばい基調

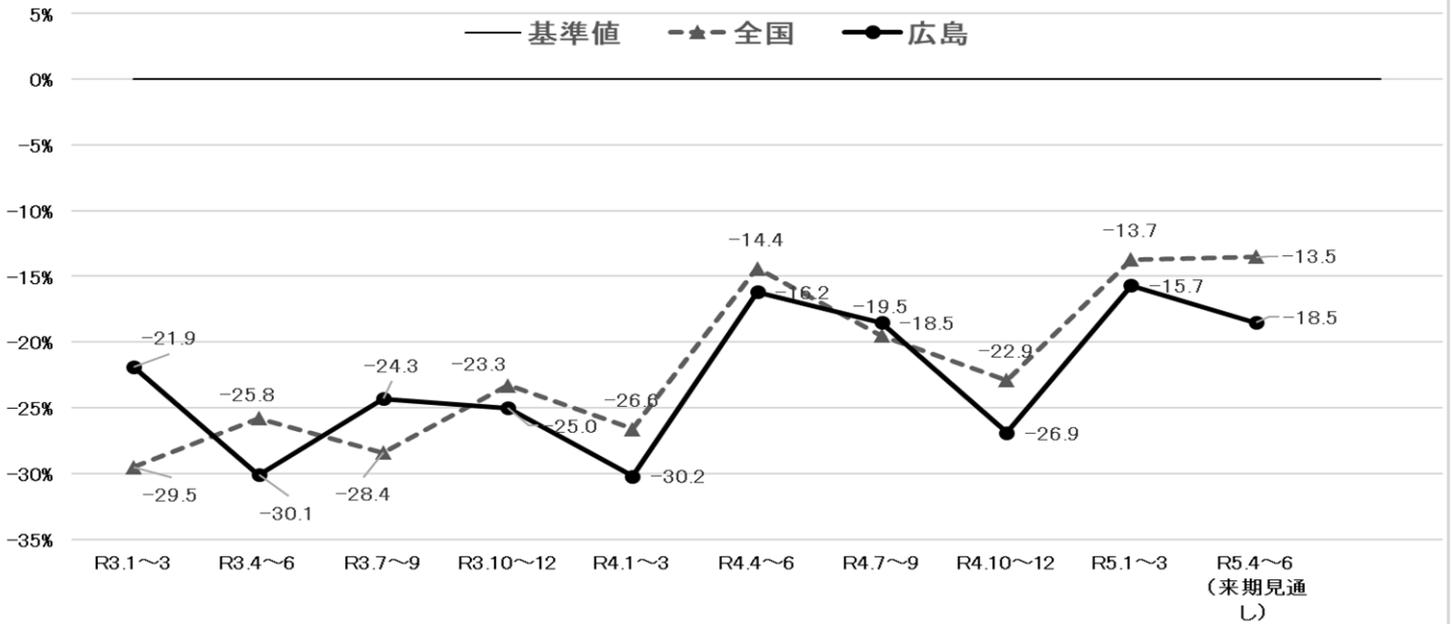
「売上単価・客単価DI」と「原材料・商品仕入単価DI」の差から原材料等の上昇に対する売上単価への価格転嫁動向をみると、中規模企業が上昇基調であるのに対して小規模企業は横ばい基調かつ水準も低く、特に小売業での価格転嫁が進んでいないと考えられる。

・従業員の不足感が強まり、概ねコロナ前と同水準に

従業員数過不足DIは、全ての産業及び業種で「不足」の回答が「過剰」の回答を上回り、概ねコロナ前(2019年1-3月期)と同水準まで不足感が強まっている。特に、建設業全般や小売業のコンビニエンスストア、サービス業の宿泊業、対事業所サービス業(運送・倉庫)等で不足感が強く表れている。

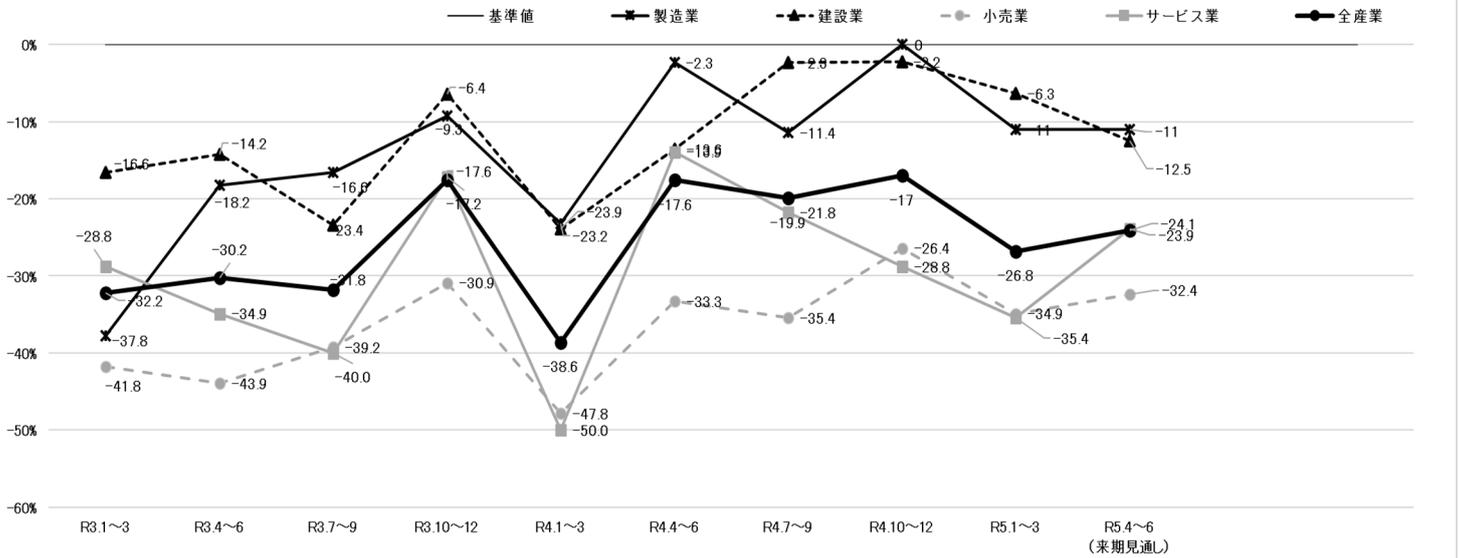
## 2. 広島県と全国(全産業) ※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。

広島県と全国(全産業)業況DI推移 -前期比-



## 3. 広島県(産業別) ※商工会地域のみ

広島県(産業別)業況DI推移 -前期比-



## 製造業（商工会地域）

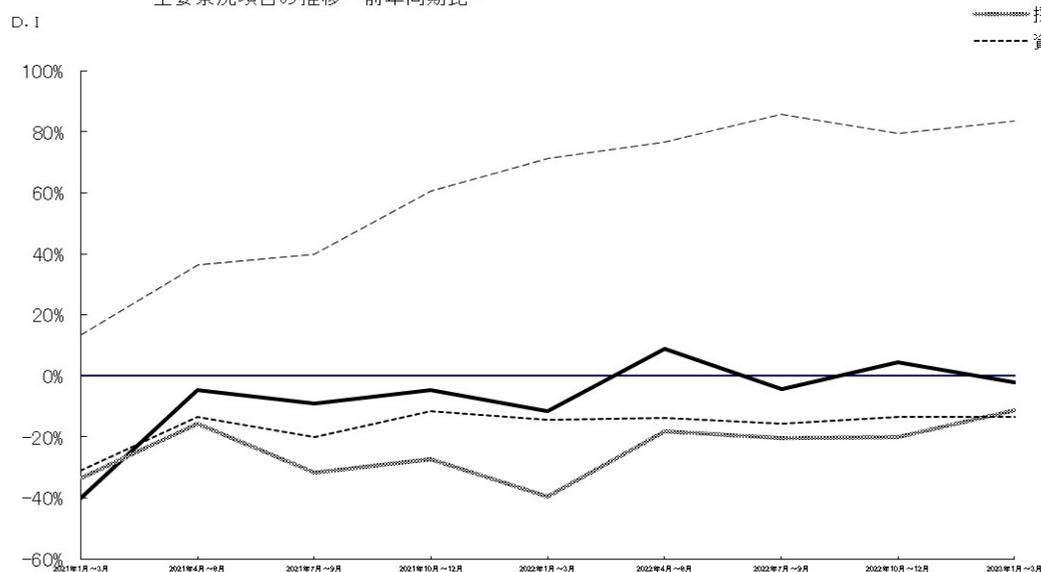
### 1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	製造業 DI		(来期見通し)	
	(前期)	(今期)	前期との比較	今期との比較
売上額	R4.10～12 4.4	R5.1～3 -2.2	↘	-15.5 ↘
原材料仕入単価	79.5	83.7	↗	81.4 ↘
採算	-20.0	-11.1	↗	-22.2 ↘
資金繰り	-13.4	-13.3	→	-20.0 ↘

### 広島県 製造業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

— 売上額  
 - - - 原材料仕入単価  
 ..... 採算  
 - - - 資金繰り



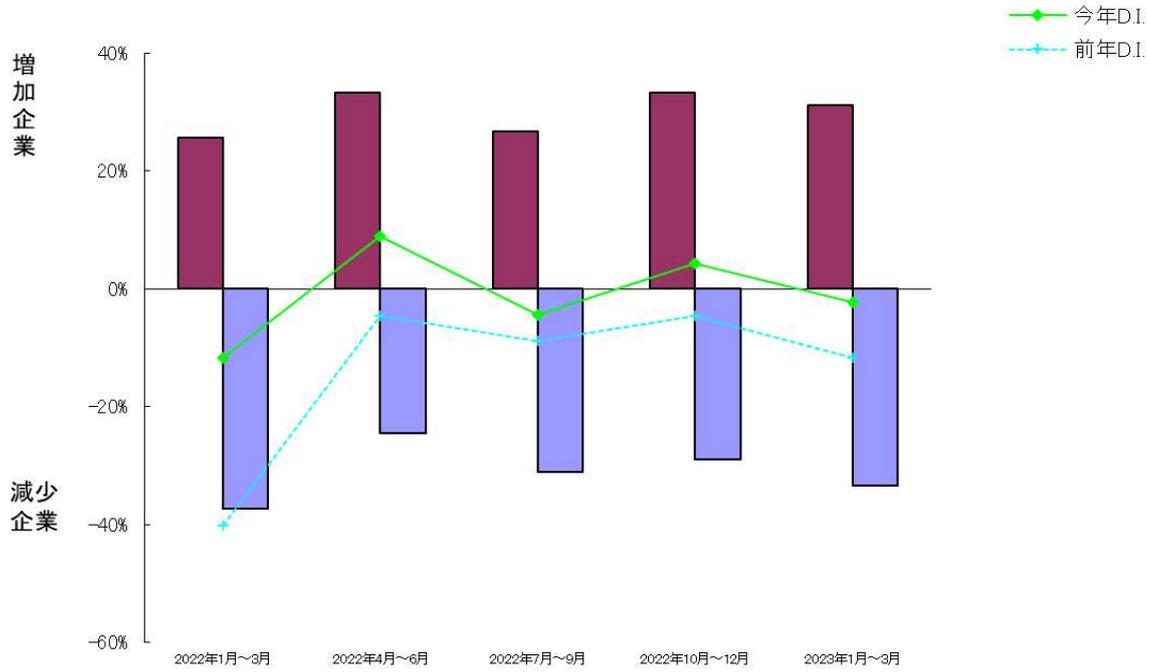
- ..... 企業のコメント .....
- ・ 原材料や電気、燃料を含めて資材の再値上げがあり、収益の悪化が感じられる。昨年商品の改定を行ったが、今年もう一度改定が必要になっている。それによる売上の変化を懸念している。
  - ・ 自動車業界におけるEV・ハイブリッド化による部品点数の減少、また半導体供給不足により生産数が伸び悩んでいる。
  - ・ 実習生への依存が高く、帰国する人が一度に帰り、その後入国できず、仕事の受注は多くても人材不足で売上が低迷している。
  - ・ 世界的な半導体不足や原材料の高騰などが影響し、サプライチェーンが停滞している。自動車工場が同率低下により、結果として部品工作機械の需要が停滞している。
  - ・ 製品の原材料だけでなく、光熱費や人件費等あらゆるものが値上がりして、価格の転嫁も100%できないため、利益を出しにくい。
  - ・ コロナの影響も静まり、徐々に客足がもどりつつあり、それに伴い売り上げも徐々に上がりつつある。

## 製造業（商工会地域）

### 2.売上額(加工額) -前年同期比-

#### 広島県 製造業

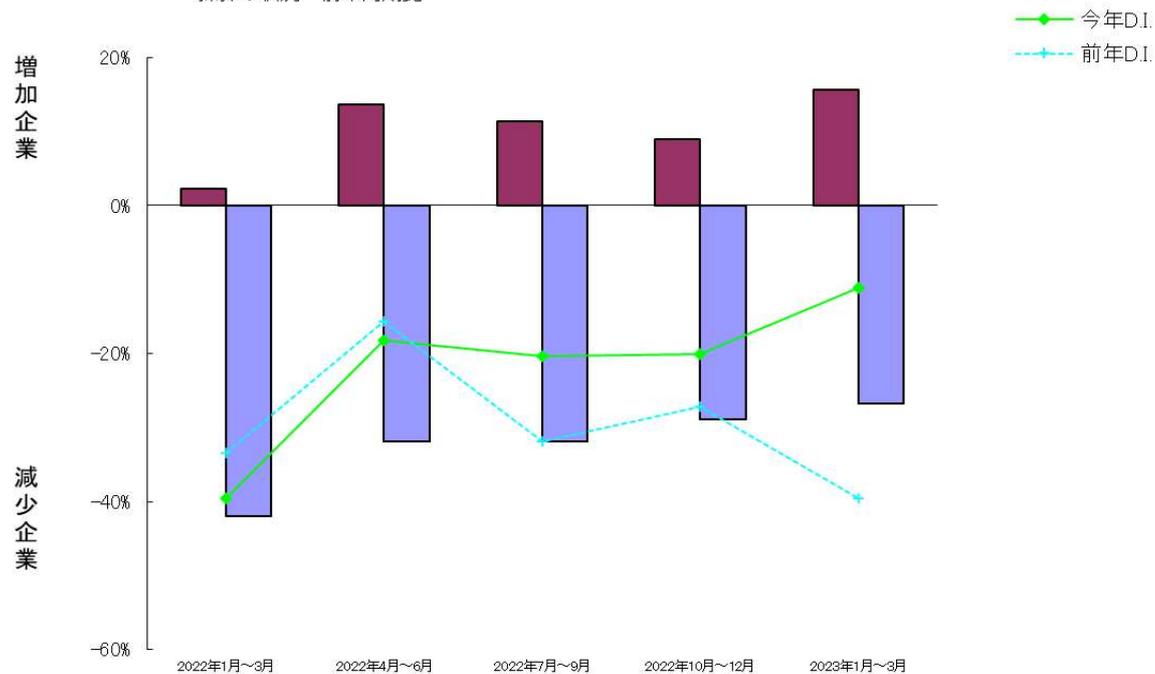
売上額の状況 - 前年同期比 -



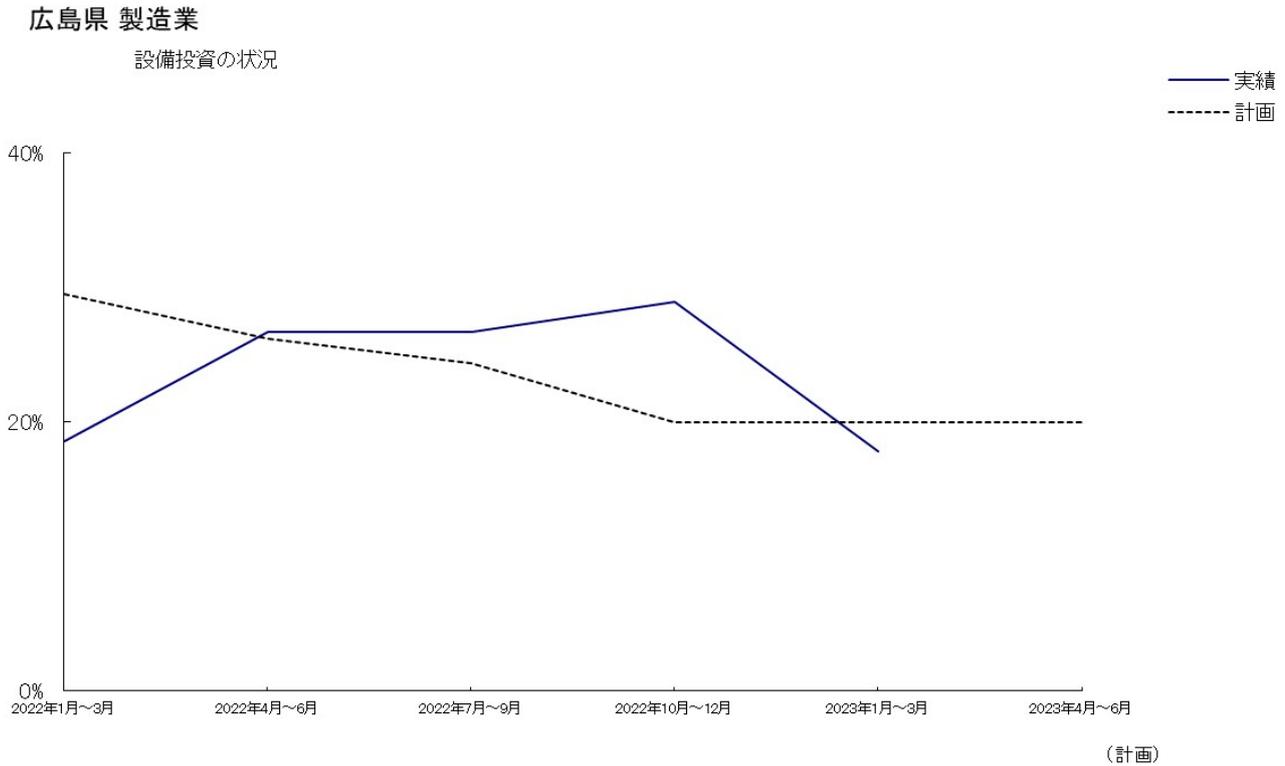
### 3.採算(経常利益) -前年同期比-

#### 広島県 製造業

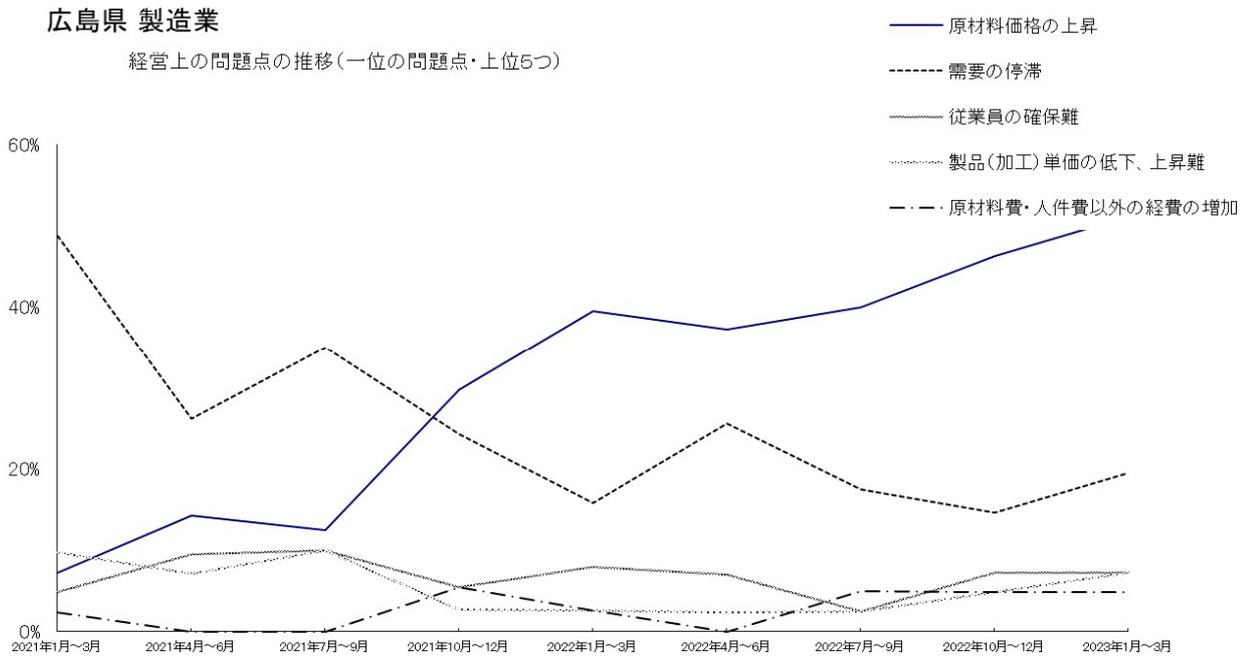
採算の状況 - 前年同期比 -



## 4.設備投資の状況



## 5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）



## 建設業（商工会地域）

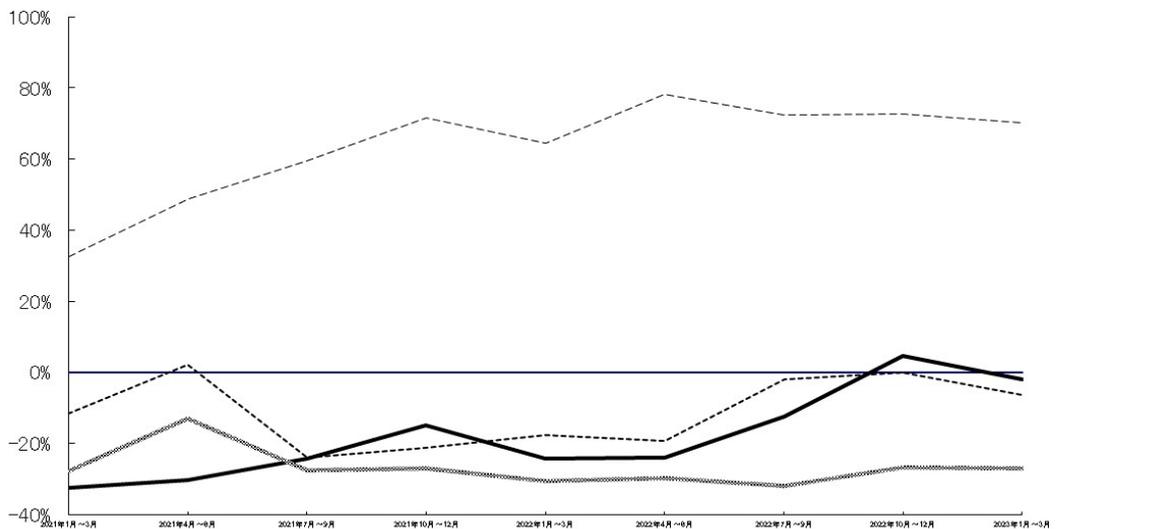
### 1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	主要項目	R4.10～12	R5.1～3	前期との比較	R5.4～6	今期との比較
売上額 （完成工事額）	4.5	-2.0	↓	-23.0	↓	
材料仕入単価	72.7	70.2	↓	51.0	↓	
採算	-26.7	-27.1	↓	-27.1	→	
資金繰り	0.0	-6.3	↓	-8.3	→	

#### 広島県 建設業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

D. I



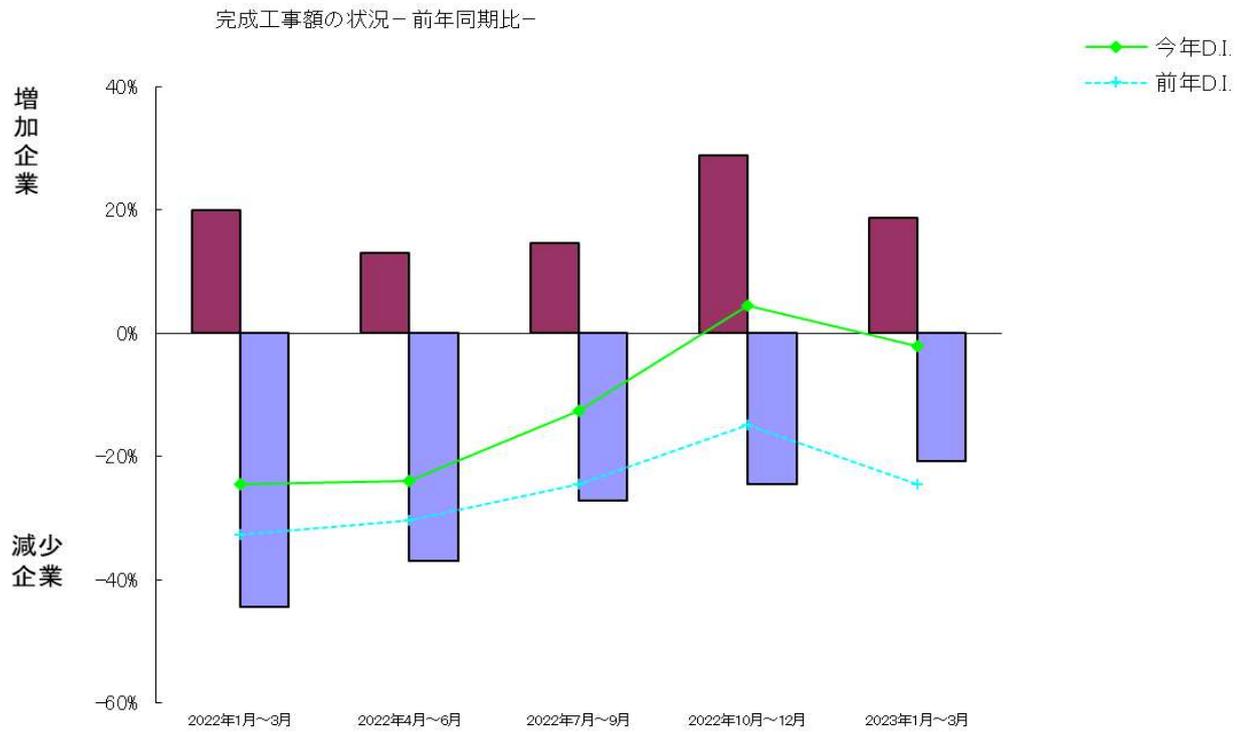
#### ..... 企業のコメント .....

- ・ 災害復旧工事がほとんど終わり、来期からの公共工事の発注がみこめないで工事高が減少しそうである。
- ・ 現状は公共工事の受注残があるので大きな変動はないが、今後は資材の値上がりも影響し、民間工事の受注をどのように伸ばすかが課題となる。
- ・ 木材がまだまだ入りにくく値段も高く、それに加え、サッシまでが値上がりし、先行きが不安である。
- ・ 原材料の高騰が経費を圧迫している。
- ・ コロナの影響で消費が鈍り、受注が減少している。
- ・ 当社の業務は主に修理なので、近年のコロナ禍にもあまり影響は受けず、業況は開業当所から特に変動はないように思う。

建設業（商工会地域）

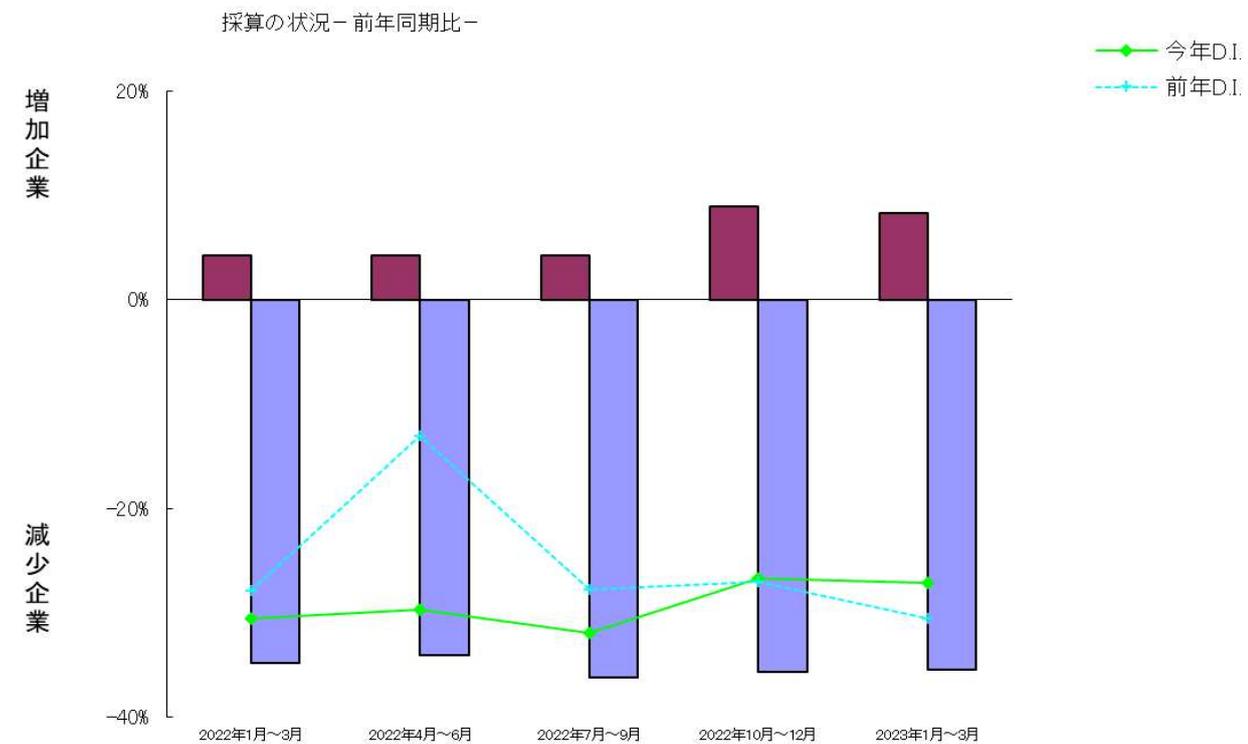
2.売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島県 建設業



3.採算(経常利益) -前年同期比-

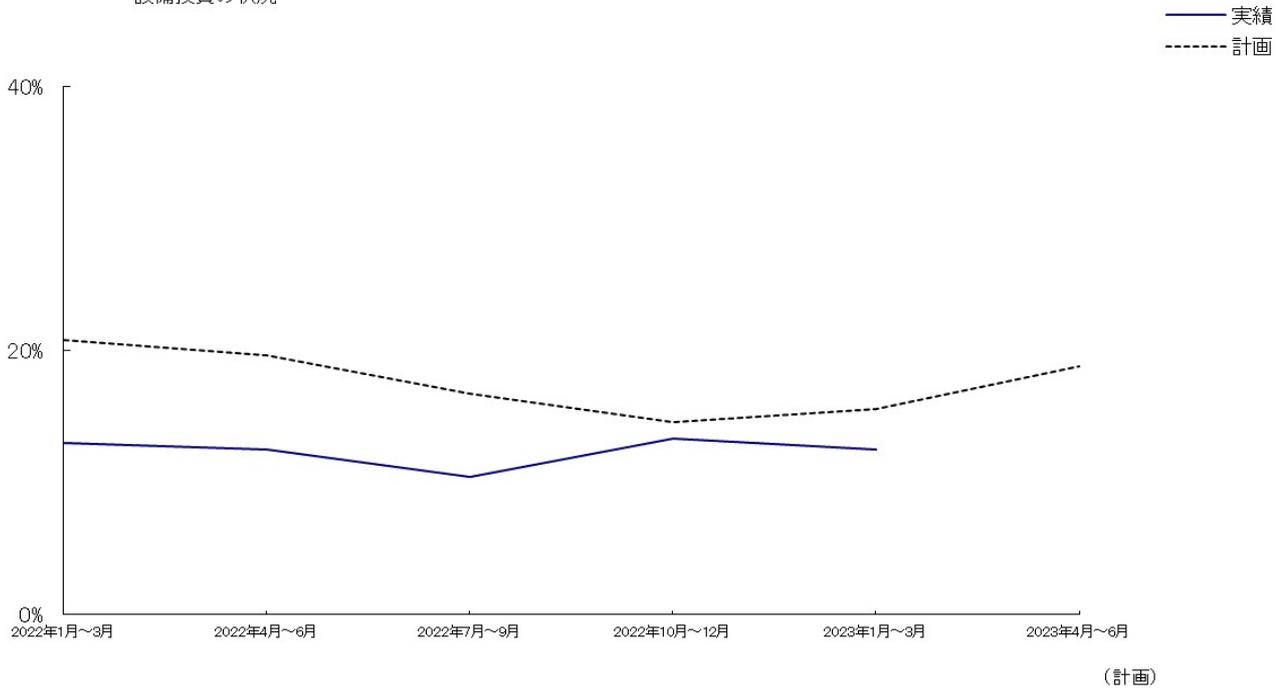
広島県 建設業



## 4.設備投資の状況

### 広島県 建設業

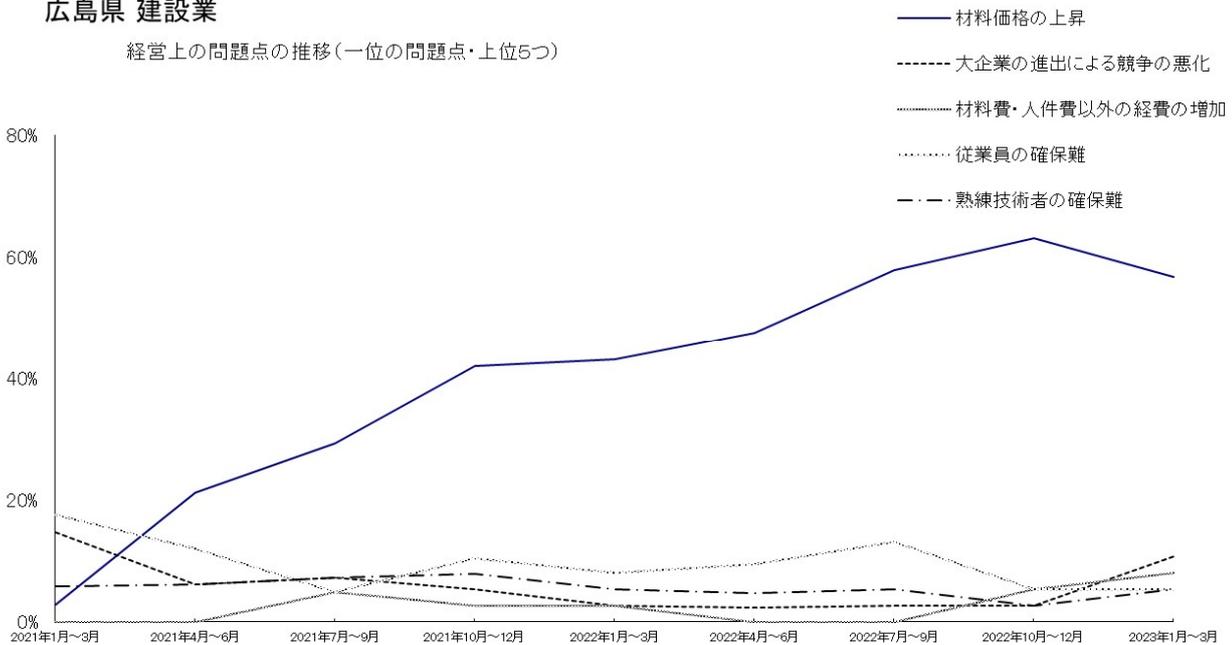
設備投資の状況



## 5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

### 広島県 建設業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



## 小売業（商工会地域）

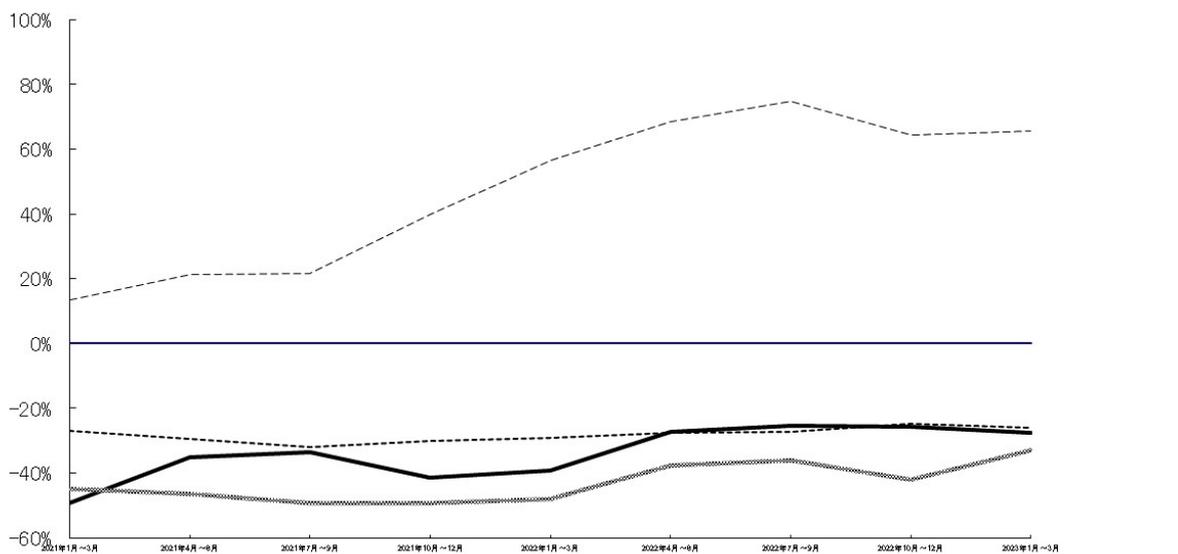
### 1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

小売業 DI	(前期)		(今期)		(来期見通し)	
	主要項目	R4.10~12	R5.1~3	前期との比較	R5.4~6	今期との比較
売上額	-25.7	-27.5	↘	-35.7	↘	
商品仕入単価	64.3	65.7	→	62.9	↘	
採算	-42.1	-32.8	↗	-31.4	→	
資金繰り	-24.7	-26.1	↘	-23.2	↗	

### 広島県 小売業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

D. I



### ..... 企業のコメント .....

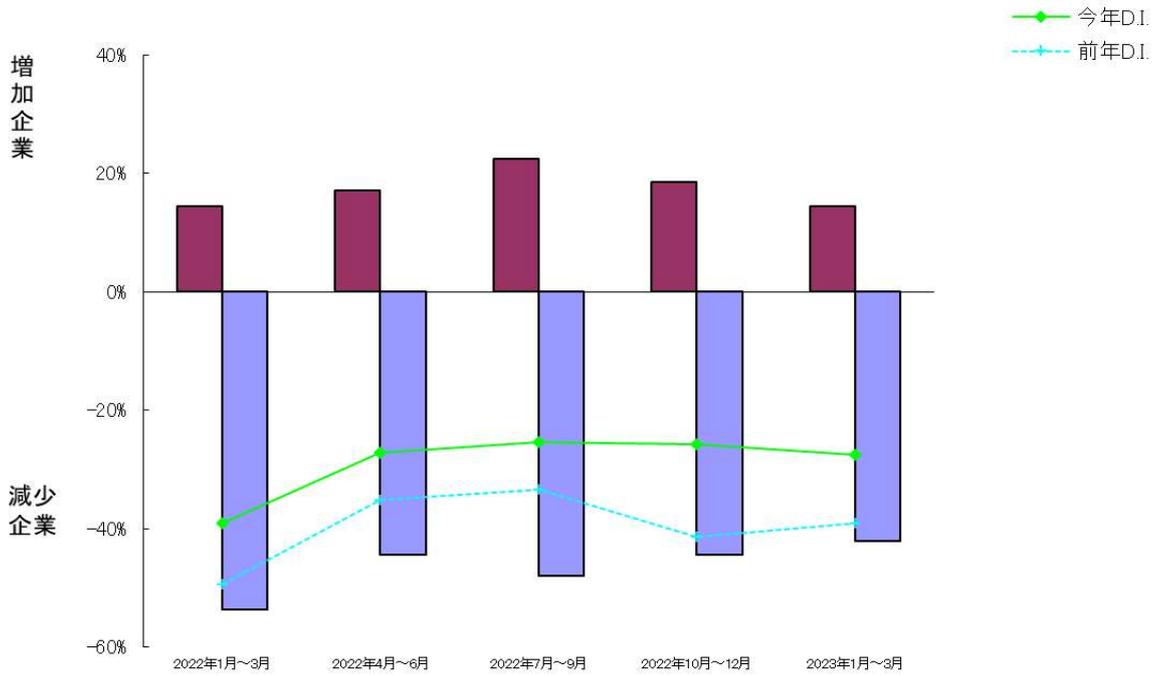
- ・ 大型店・ネット販売との競争がさらに激しくなっている。
- ・ 物価上昇の影響か、需要が停滞気味である。コロナ禍よりは良いものの、仕入れ値が高騰し利益を圧迫。運転資金も厳しくなり先行き不安。
- ・ 1月から2月にかけて自治体のキャッシュレスキャンペーンが行われ、他市町からの来店も多く売り上げも上がったが、終わると嵐が去った後のようである。
- ・ 水道光熱費の上昇に売り上げが追いつかない。
- ・ 業況は不変であるが、材料等仕入単価上昇で客単価も高くなり悪循環になりつつある。
- ・ コロナ禍での外出制限やあらゆる制限の解除で人の流れが多くなっては来たが、資材や原料の高騰で実利が上がりにくくなっている。

## 小売業（商工会地域）

### 2.売上額 -前年同期比-

#### 広島県 小売業

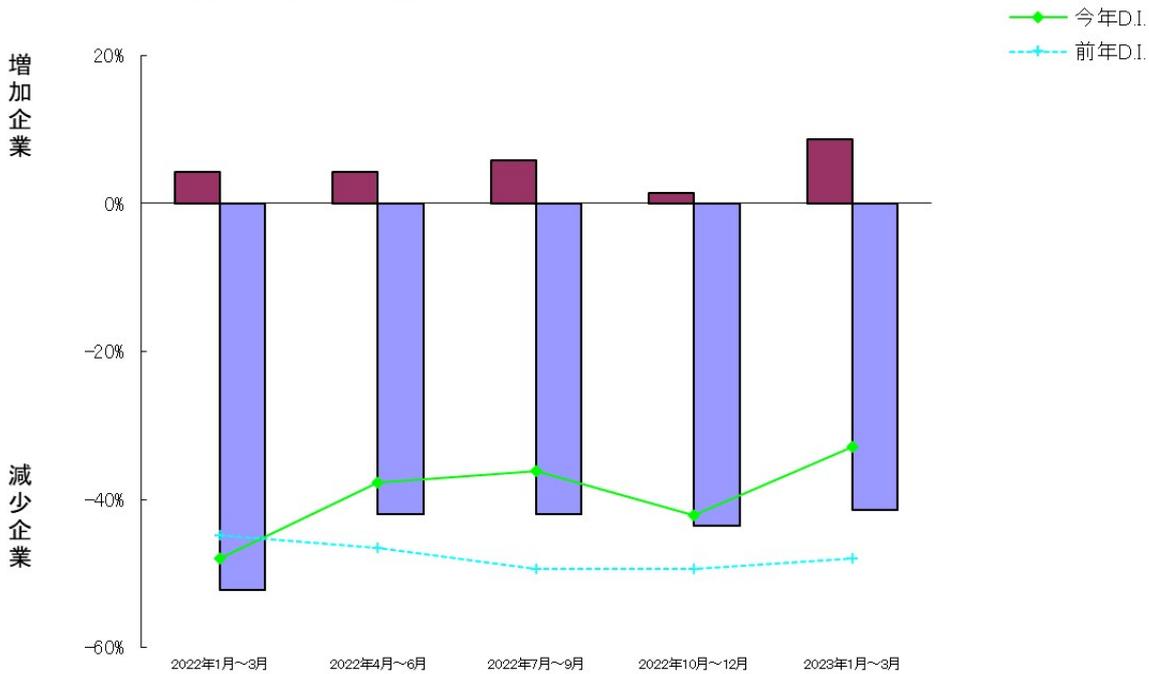
売上額の状況 - 前年同期比 -



### 3.採算（経常利益） -前年同期比-

#### 広島県 小売業

採算の状況 - 前年同期比 -

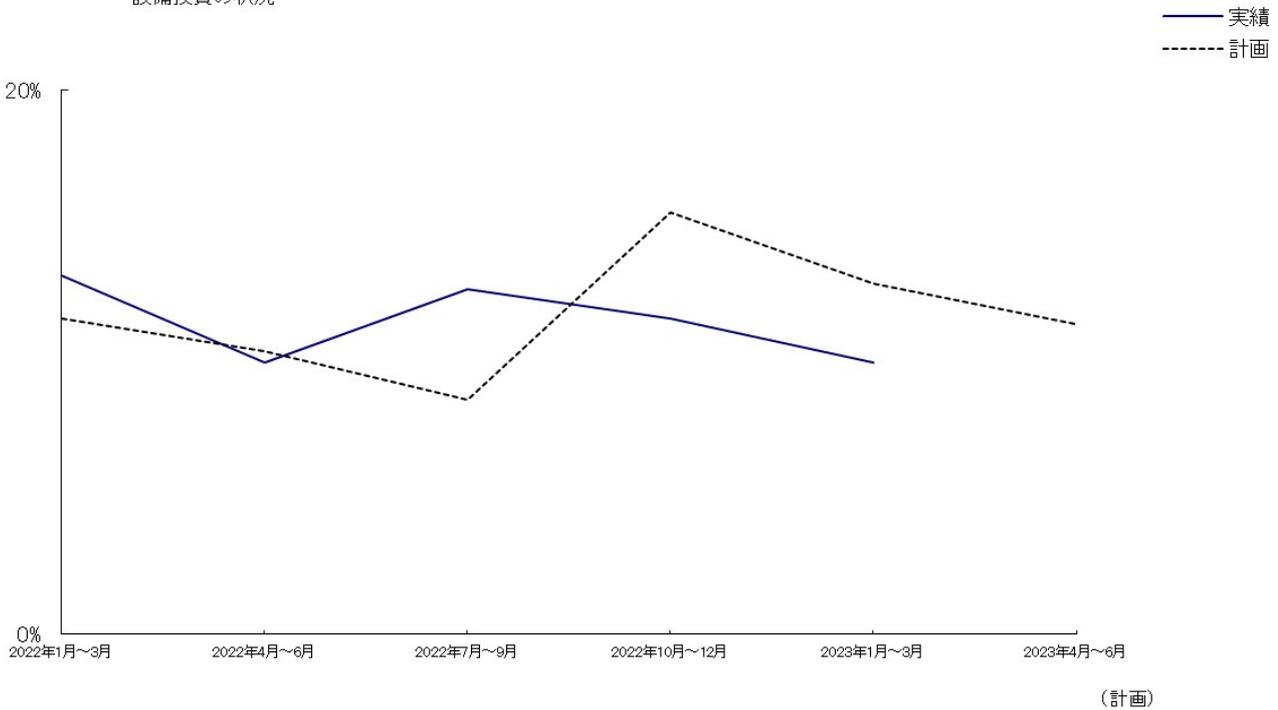


## 小売業（商工会地域）

### 4.設備投資の状況

広島県 小売業

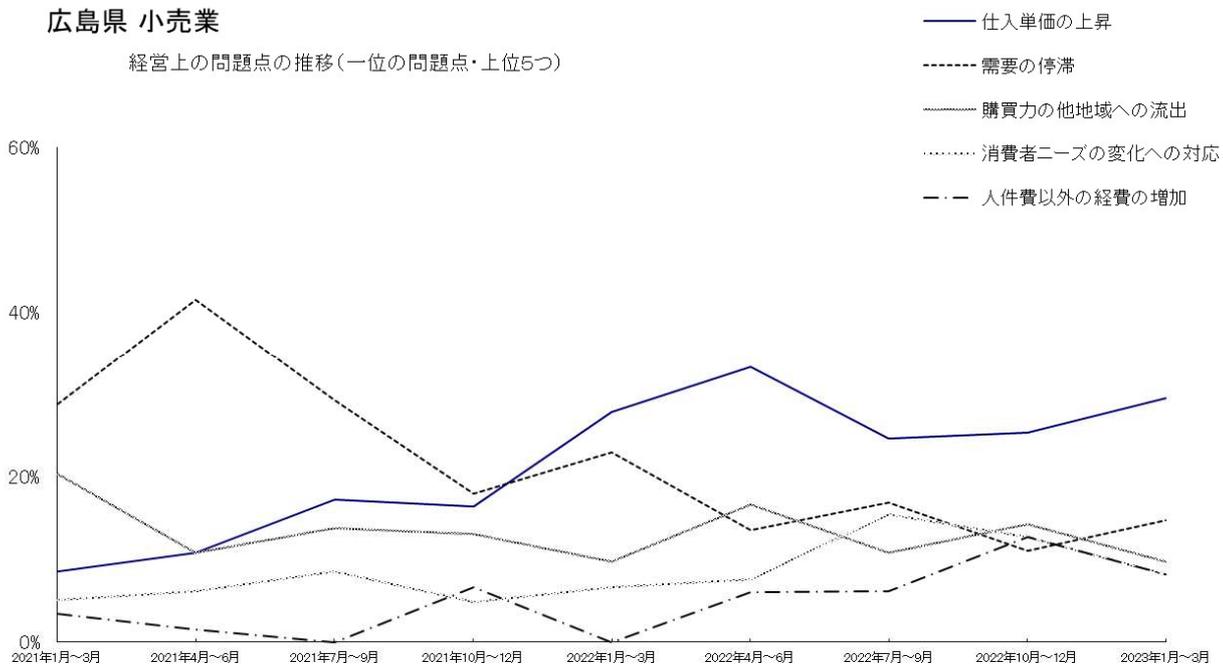
設備投資の状況



### 5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 小売業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



## サービス業（商工会地域）

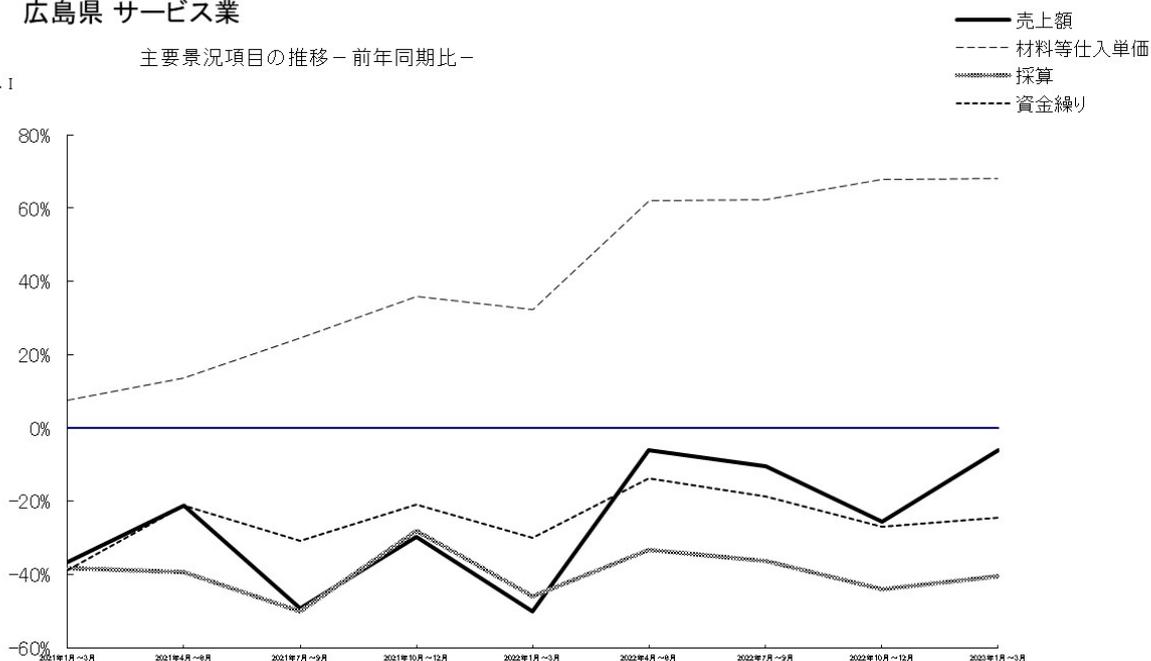
### 1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	サービス業 DI		（来期見通し）		
	（前期）	（今期）	前期との比較	今期との比較	
売上額	R4.10~12	R5.1~3	↗	R5.4~6	→
材料等仕入単価	67.7	68.2	→	63.7	↘
採算	-44.0	-40.3	↗	-32.8	↗
資金繰り	-27.0	-24.6	↗	-27.7	↘

### 広島県 サービス業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -

D.I



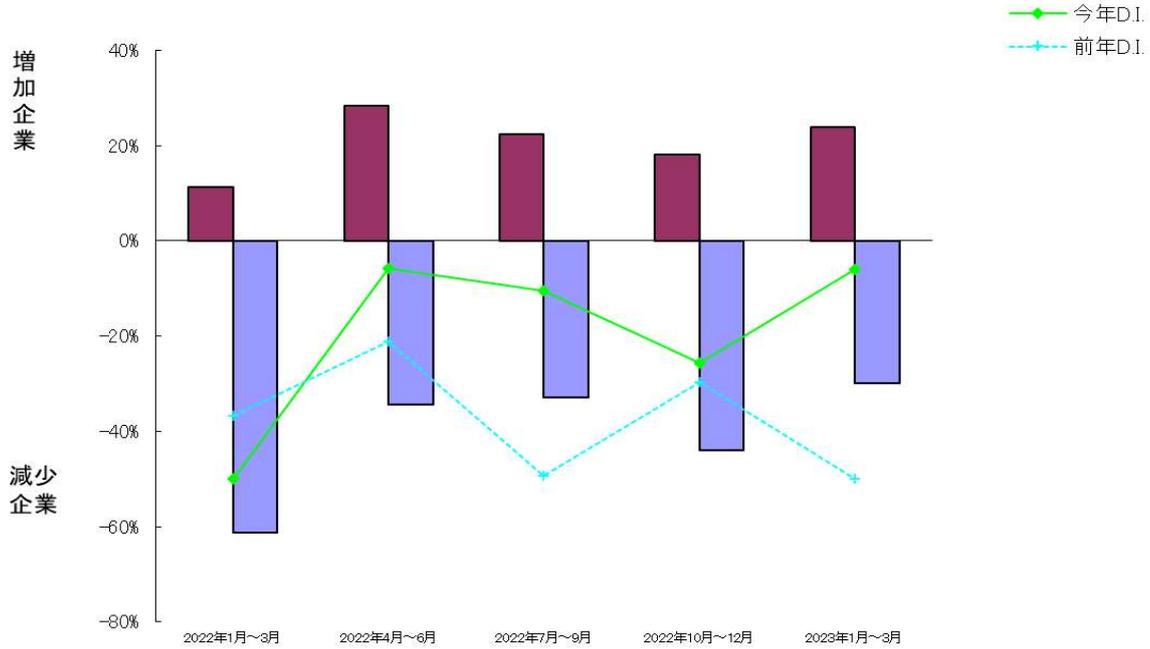
- ..... 企業のコメント .....
- ・ コロナ禍が終わっても、利用者ニーズが変わってしまったので、今の形態ではやっていけなくなった。
  - ・ コロナ禍も収束してきて、客足も増加してきていますが、先行き不安です。
  - ・ コロナの慢性的影響と物価上昇で好転できない。
  - ・ G7サミットでの、来期の売上は大幅増加が見込める。
  - ・ 業況は上向いてきているが、リニューアルの為の工事代の支払い、資金繰りは悪化している。
  - ・ 仕入や光熱費の価格上昇が問題。こちらでコントロールできないものなので、改善策の出しようがない。
  - ・ 低料金店に移行されている感じがあるが、さらに技術を磨き頑張らないといけない。

## サービス業（商工会地域）

### 2.売上額(加工額) -前年同期比-

#### 広島県 サービス業

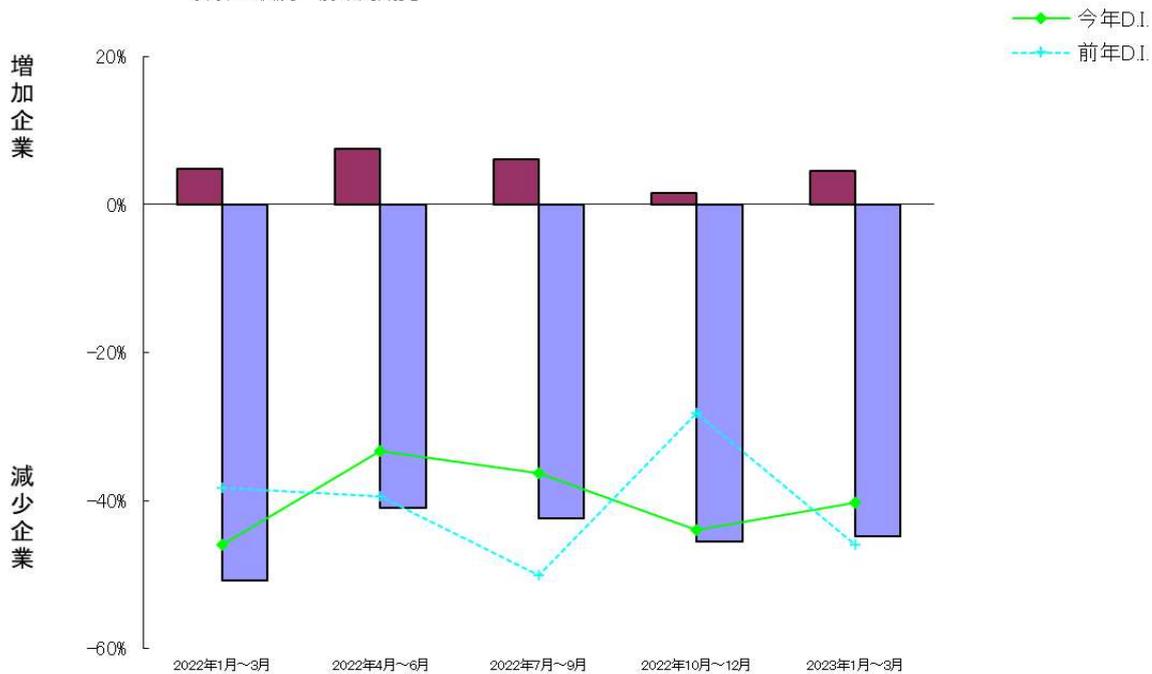
売上額の状況 - 前年同期比 -



### 3.採算(経常利益) -前年同期比-

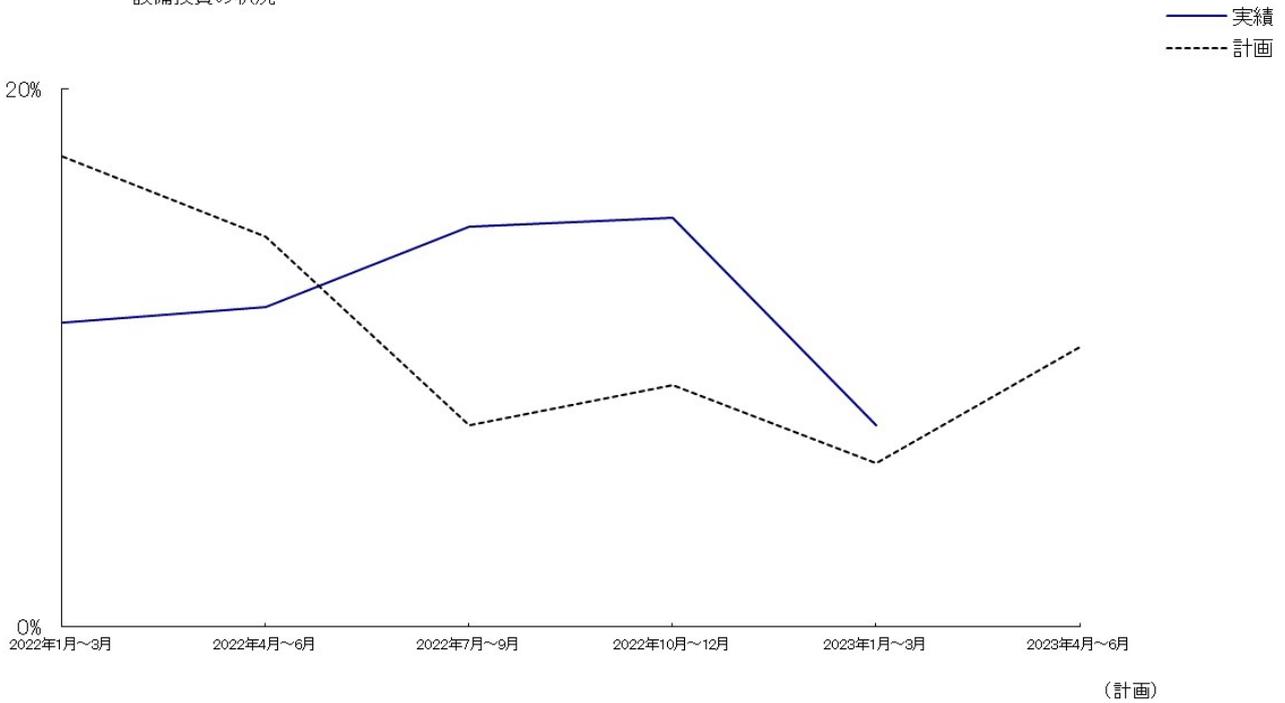
#### 広島県 サービス業

採算の状況 - 前年同期比 -



## 4.設備投資の状況

広島県 サービス業  
設備投資の状況



## 5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 サービス業  
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）

